

E

東野便り

HIGASHINO DAYORI

02

学校法人
盈進学園 東野高等学校
総務部

「東野 SDGs」始動

東野高等学校 校長 北村 陽子

謹啓 春暖の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。いつの間にか、校内の桜もハナミズキへとその主役の座を移したかのようです。皆様には常に変わらぬご支援ご協力を賜り、ありがたく厚く御礼申し上げます。

2021 年度を迎えても新型コロナウイルス感染症の収束は見えず、大きな試練を抱えたままの状況が続いています。先行き不透明な日々ではありますが、二度とは戻らない高校時代を出来る限り有意義な時となるように、最大限の注意を払いながら進んでまいりたいと考えております。

さて、前回発行の東野便り（4 月 8 日付）ですでお知らせしましたように、本校では探求学習において【東野 SDGs】を推進してまいります。その第 1 回目は 4 月 17 日（土）から始動いたしました。そうしたことも踏まえ今考えていること、実際に変化したこと、今後の行方についてご報告させていただきます。「探求」と「探究」どちらの漢字を使うべきか。文科省の学習指導要領では、「総合的な探究の時間」です。辞書で確認してみました。「探求：物事を探し求めること」「探究：物事の本質を探って見極めること」とあり、実に難しい。つまりは「総合的な探究の時間」⇒「探求学習東野 SDGs」ということでどうでしょうか。そのようなことを思いながら、これからは、『ひとつの価値観だけではなく、自ら学びたいことを発見し学びたいことが学べる環境をつくり将来の選択肢を増やす』ことが出来る学びの場でなければと考えています。

多様性を受け入れていくことの大事さ、もっと端的に言ってしまうと『ひとつじゃつまらない』ということになりましょうか。いろいろな考え方や実際に併用できることによって人生の幅が広がります。例えば次の項目です。

- ・対面授業とオンライン授業・勉強と部活・きびしさと優しさ・日本語と英語
- ・インプットとアウトプット・自由と規律・探求と探究

そして、そのための取り組みが【東野 SDGs】となるはずで。

【東野 SDGs】に取り組むことによって、目標が明確になり、社会のつながりに気づき、他の問題とも有機的に関連していることを理解し、発展性を持たせることが出来るのです。「自分が得ること」が「学校が得ること」になり「社会が得ること」につながっていくはずで。まずは、気づいたことからやりましょう。そして、楽しんでやりましょう。【東野 SDGs】に取り組むことが、世界を変えるための SDGs につながっていくはずで。世界をけん引するのも君たちであるべきです。

このような時だからこそ、東野生だからこそ、君は何をしますか？

と語りかけていくつもりです。今の世の中は、知識も情報もあふれていますし、ネットの中からいくらでも取り出すことが出来ます。それを切り貼りすることが、学びとはいいいがたいでしょう。生徒が自らの意思で何かを求め、自分で考え、検証し答えを見つけていく、そのプロセスこそがその後の人生のエネルギーとなるはずで。

こんなことを思う 2021 年度のはじめです。順調に動き始めていることはご報告できます。また、1 学期中に授業アンケートを実施し教科指導力向上に努める所存です。皆様には、これまでもまして、東野高等学校発展のためにお力添えいただけますようお願い申し上げます。

謹白

今後の予定

| | |
|-------------------------------------|---------------------|
| 4月26日（月）東野 Walk（1年） | 5月18日（火）～21日（金）中間考査 |
| 5月 1日（土）生徒会選挙・開票 | 21日（金）3年進路学習 |
| 6日（木）～8日（土） <u>学校公開（バスは HP に掲載）</u> | 24日（月）～28日（金）英検週間 |
| 10日（月）1年放課後講習開始 | 26日（水）2年 TGG |
| 15日（土）PTA 総会 | 29日（土）英検（全員／1次試験） |